

代表質問

3月5日
本会議

◆質問と答弁は要旨を掲載しています。
◆代表質問の全文(会議録)は、5月下旬にホームページに掲載します。
◆スマートフォンなどで2次元バーコードを読み取ると、各議員が代表質問をしている動画にアクセスできます。



田中しゅんすけ

(自民党)



安定した区財政のために

【質 問】景気変動に左右されない財源の確保及び財政の基盤づくりが最も重要であると考えますが、見解は。

【区 長】歳入の基幹である特別区交付金は景気変動に大きく左右され、財政運営に大きな影響を与えている。今後とも、財政環境の変動時においても、安定した財政運営を行える強固な財政基盤の構築をめざしていく。

ブランド戦略による発展を

【質 問】3年度にリニューアルオープンする(仮称)植村直己スポーツセンターなどの特徴ある施設を核として施設展開をエリアで進めていくという考え方が重要。「住みたいまち」として選ばれる板橋をめざす取り組みをすべきと考えますが、ブランド戦略を含め、区の見解は。

【区 長】ポストコロナを見据え、今まで以上に選ばれるまちをめざすため、ブランド戦略が必要と考えている。区への愛着と誇りを高め、交流



植村冒険館内観イメージ

とにぎわいを創出し、区の持続的な発展に向けて重点的に取り組んでいく。

窓口業務のデジタル化を問う

【質 問】コロナ禍によって行政のデジタル化に係る課題が浮き彫りになった。区はデジタルトランスフォーメーション(DX)を重点戦略に掲げたが、対面による窓口対応についての認識を伺う。

【区 長】窓口での「もてなしの心」による区民サービスの提供を大切にしながら、区民が可能な限り来庁せずに手続きができるよう、利便性の向上のための改革も推進していく。

新型コロナウイルス感染症対策の充実を

【質 問】打撃を受け続けてきた飲食業・商店や関連事業者への支援が急務。支援をどのように考えているか。

【区 長】都の時短要請に協力した事業者への支援として、板橋区感染拡大防止協力を補正予算に計上した。今後、制度の詳細を決定し、3年度も引き続き対応していく。

【質 問】商店街や地域の個店におけるキャッシュレス決済ポイント還元事業の再運用など、きめ細かく即効性のある支援策を講じるべき。

【区 長】2年度に実施したキャッシュレス決済ポイント還元事業は、幅広い業種への支援や消費の循環に寄与した。今後、都の補正予算案で計上された生活応援事業の活用を視野に、デジタル技術を活用した支援事業を検討する。

ワクチン接種について問う

【質 問】新型コロナウイルスワクチンの接種については、区民へのわかりやすい広報や電話などによる相談体制を充実させるべき。

【区 長】3年3月からコールセンターを開設し、ワクチン接種に関する相談に対応している。また、3月下旬には、広報いたばし特集号を全戸配布し、区民に最新の情報を発信する。

医療機関との連携強化を

【質 問】新型コロナウイルス感染症対策において、日々刻々と移り変わる医療現場の課題に対し、時宜を得た支援策が講じられるよう区医師会をはじめ、感染症対応医療機関と緊密に情報連携すべき。

【区 長】感染症の発生当初から、区医師会及び区内医療機関と連携し、対策を進めてきた。状況の変化に応じ、随時オンライン会議などで情報交換や課題の共有を図り、区独自の事業も構築してきた。今後も情報連携に努め、必要対策を講じる。

医療従事者への支援と対策を

【質 問】感染症対応に従事している医師・看護師・職員に対する差別や誹謗中傷は許されるものではない。区として差別への対応をすべき。

【区 長】差別・偏見や個人を特定しようとする行為につながるような情報、情報の出し方に留意している。今後も広報紙やホームページ、チラシなどで周知・啓発に努める。

今こそ連携拠点の整備を

【質 問】新型コロナウイルス拡大の中で、感染者の入院調整や介護施設との連携、在宅者のケアなど、医療・介護・福祉の連携が重要な課題であることが明らかになった。

【区 長】在宅医療センター療養相談室や地域包括支援センターなどを中心に、地域における医療・介護・福祉の連携に努めているが、今後、拠点機能のあり方を含め検討していく。

福祉園の民営化に関する考え方を問う

【質 問】セーフティネットの使命を厳守する姿勢で、今までと同様に利用者や事業者とコミュニケーションを図りながら、丁寧に進めるべき。

【区 長】これまで福祉園が担ってきたセーフティネットの使命・役割を果たしていく

ことが何より求められている。引き続き、利用者や運営法人とコミュニケーションを取りながら、丁寧に進めていく。

GIGAスクール構想における課題を問う

【質 問】1人1台のタブレット端末環境への対応や、教員のICTスキル不足、児童・生徒の情報リテラシーの向上、保護者の理解と協力などの課題について、見解は。

【教育長】小学校低学年では、タブレット端末の重さが課題であり、毎日持ち運ぶ教科書などの取捨選択の検討が必要と認識。また、インターネット環境がない家庭もあることから、家庭外でもオンライン学習ができるよう環境整備を推進する必要がある。

いじめへの対策を求めて

【質 問】増え続けるいじめの認知件数に対して、即応性のある早急な対応をすべき。

【教育長】各学校では、アンケート調査や第5・第7学年のスクールカウンセラーとの全員面接などにより早期発見に努めている。今後も、保護者や地域住民、関係機関と緊密に連携し、早期発見・早期対応に努めていく。

これからの災害対策を問う

【質 問】水害時の避難方法として、高い建物を利用した垂直避難も有効と考える。想定し得る最大規模の荒川の浸水被害が発生した場合、垂直避難の課題や必要な準備は。

【区 長】多くの方が垂直避難を選択した場合、救助活動は困難を極め、命に危険が及ぶ可能性が高い点が課題。垂直避難の際には、居住地域の浸水継続時間以上の家庭内備

蓄が必要となるため、3年7月に全戸配布するいたばしくらしガイドでも周知を図る。

災害ボランティアの集積拠点の整備を求めて

【質 問】ボランティアの集積拠点として、交通の利便性が高い板橋駅前広場の活用を検討すべき。

【区 長】現時点では、災害ボランティアや支援物資の拠点は小豆沢体育館を想定している。拠点には、区内外からの交通便利性の観点も必要であり、効果的・効率的な設置場所について改めて検討する。

国とのさらなる連携を求めて

【質 問】駅前広場の照明やベンチ、サインなどの設備は、今後、設計の段階で必要性や配置を具体的に検討することとなる。太陽光発電施設は、災害時や日常においても電源として有効であり、費用対効果を含め、設置について検討していく。

【区 長】国が決定した補助金や助成金について、区が交付事務を行う場合、対象団体



かいべとも子

(公明党)



新型コロナウイルス対策の充実を

【質 問】介護保険における訪問・通所型事業所の従事者に対するワクチン接種の優先順位を、入所施設従事者と同等にすべき。

【区 長】接種順位は全国一律の基準として国が定めている。今後、国に要望を上げるかを含め検討課題とする。

【質 問】妊産婦への支援として、ワクチンの接種期間や感染が収束するまでの期間限

定で、オンラインによる医療・健康相談を導入すべき。

【区 長】オンラインによる医療・健康相談は有効なものと認識。先行事例などを参考に、今後検討していく。

財源確保と区民への還元を

【質 問】厳しい財政運営をどのように区民へ説明し理解を得るか。また、どのように財源を確保し還元していくか。

【区 長】広報いたばしをはじめ、あらゆる機会を捉え説明していく。既存事業の見直しや資産の活用などにより財源を確保し、区民サービスの質の向上を図っていく。

福祉園の民営化について問う

【質 問】事業者が破綻・撤退した場合の対応方法は。

【区 長】撤退が生じないよう制度設計を行い、運営状況をきめ細かく把握することを第一に考えている。そのうえで、撤退した場合を想定し、新たな事業者への引き継ぎなど、必要な取り決めを行い、運営を継続する体制を整えていく。

障がい者理解への機会創出を

【質 問】「世界自閉症啓発デー」に発達障がい者支援センターなどをブルーデコレーションし、発達障がいなどの理解を深める機会を作るべき。

【区 長】発達障がい者支援センターで啓発活動を行う予定。ホームページでもシンボルカラーの青をモチーフとした専用ページを作成し、一層の理解を呼び掛ける。